



荒木詩郎後援会ニュース

平成23年7月発行 No.41 後援会 会長 一宮 敬昭

連絡先 荒木詩郎事務所 塩浜 4-2 ハイタウン塩浜 50-601 Tel: 047-395-8171

会派「みらい」に所属し行徳臨海部特別委員長に就任

荒木議員 6月議会で市の災害対応を追及

今回開催された6月議会は震災対応議会の様相を呈しました。成立した一般会計補正予算の内容を見ても、東日本大震災の影響で損壊した道路（塩浜・高谷新町・二俣新町）、河川（大柏川・塩浜2丁目付近排水路）、学校（塩浜中・塩浜小）の復旧工事費、要援護者への家具転倒防止器具取り付けへの補助金の増額、気象庁の緊急地震速報や、市川市などが配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信することができる「携帯電話エリアメール」の新規導入などの措置が盛り込まれています。荒木議員の一般質問は、危機管理の問題にしぼり展開。市川市の中で最も被害の大きかった塩浜地域に居住する議員として、住民の皆さんと一しょになってこれを克服した経験をもとに、市の見解を質しました。



荒木議員の一般質問（要旨）

質問 災害弱者、特に知的障害児への災害対応は？ **答** 避難所での集団での対応が困難な方について、学校の余裕教室を利用できるようにする。薬を服用している方に、非常用のストックを数日分用意する事や、服用のメモの携行の周知徹底を図っていく。その後は病院や救護所の医師と連携して薬を飲み続ける体制を整備したい。障害のある方の福祉避難所を設置し、専門的なサービスを提供できる体制を整備するため障害のある方々と話し合っていきたい。

質問 3月11日、塩浜地域の被災状況をどうつかんでいたか？ **答** 行徳支所地域整備課が状況を把握、特にハイタウン塩浜、塩浜体育館周辺の道路は被害が大きかったと認識している。道路の補修など柔軟な対応をとったところである。

質問 「ちは県民だより」4月号に各地の被害状況が掲載され、近隣各市は火災・全壊・半壊・断水・下水道使用制限等の状況が出ていたが、塩浜であれだけ断水したのに、市川市は「火災2件」のみとなっていた。なぜこのような記事になったのか？ **答** 3月24日現在の状況の発表だったと思う。県には断水などの被害状況を逐次報告していたが、県の水道局が塩浜地域の被害を特定化できなかったといっている。市としても疑問をもっている。

質問 補正予算で災害復旧事業を行うにあたっては、該当する地域と話し合いながら行うべきである。 **答** 地域の方の意見を聞いて事業を執行してまいりたい。

質問 危機管理をしっかりとするには市長のリーダーシップが必要だ。市長の見解を。 **市長** 今回の震災を教訓に、地域防災計画の見直し、危機管理体制の充実に努めたい。市長として市民の生命・財産を守るという観点から、強いリーダーシップを発揮して災害に強い街づくりに取り組んでいきたい。

荒木詩郎は、災害に強い「安全・安心」の地域を
市民のみなさんと一緒につくるためにがんばります。

荒木詩郎・後援会の活動はホームページでも紹介しています。(アドレス <http://www.s-araki.net/>)

荒木議員の議会での役職＝総務委員、議会運営委員、国民健保委員、消防委員

荒木詩郎は、6名で構成する「みらい」という会派で活動することになりました。荒木議員を含め純粋無所属議員が3人おり、4人は行徳地域から選出されています。

議会の役職では、総務委員会、議会運営委員会に委員として所属することになりました。審議会では、引き続き国民健康保険制度協議会の委員に加え、新たに消防委員に委嘱され、市川市の消防行政についての委員会の議論にも参加することになりました。また、行徳臨海部特別委員会の委員長に就任。「住民の皆さんの声を聞きながら、安心して水辺に親しめるような行徳地域のまちづくりに、委員の皆さんと一緒に頑張って努力し、市民の期待に応えられるように頑張っていきます」（荒木議員・談）

荒木詩郎後援会が総会・懇親会を開催 5月22日

3期連続当選の喜びを分かち合いました

5月22日（日）、今年度の荒木詩郎後援会の総会がハイタウン塩浜内の会議室で開催されました。

当初3月開催の予定が大震災の発生で荒木議員もその対応に追われ、市川市の災害対策本部と塩浜の対策本部を往來する毎日。そして3月の後半からはそのまま選挙戦になだれこんだことにより、今回は当選祝い兼ねた総会となりました。22年度の活動報告や収支報告、見事な戦いぶりを見せた選対本部長の選挙戦を振り返っての挨拶の後はお待ち兼ねの懇親会です。

支援者の一人がお祝いの席に鯛を贈りたいと、未明から夜半まで三崎沖で釣り糸を垂れ、みごとに50センチを超える真鯛を釣り上げて届けてくれました。当日は、70名を超す後援会員が本八幡、稲荷木、広尾、新井、南行徳、福栄、塩浜など市内全域から、老若男女が集まり、荒木議員の3期目の当選を祝うとともに、お互いの健闘をたたえ合い、懇親を深めました。選挙戦を経たことでいつもの総会より地域も年齢層も格段に広がり、荒木の実績が市内に広く浸透しはじめていることがうかがえました。荒木後援会の特徴は、それぞれの地域のボランティア活動を展開している方々が多数参加していることで、日頃の活動を披露しあいながら、支援者の作った手作りの料理や鯛の刺身を楽しみつつ懇談しました。



たくさんの方にご参加いただき、選挙戦での出来事やお互いの奮闘をたたえ合い、決意を新たにしました。



後援者が釣った大きな鯛を掲げる一宮会長



選対本部長として活躍の角さん

荒木詩郎・後援会の活動はホームページでも紹介しています。(アドレス <http://www.s-araki.net/>)